

米国環境庁  
ワシントン、DC 20460

大気放射局

2021年11月18日

ENERGY STAR 画像機器パートナー又はその他の利害関係者

このレターは、米国環境保護庁(EPA)が ENERGY STAR 画像機器 (IE) 基準に対する改訂の最終版を提示するものである。この改訂では、業務用画像機器に対する更新された基準を提示し、バージョン 3.2 として発行する。既にバージョン 3.0 及びバージョン 3.1 に適合した製品は、この変更の影響は受けず、且つ何の措置を取らずともそのまま、ENERGY STAR 適合は有効である。

EPA はバージョン 3.2 の改定案に関し複数のコメントを受け取った。あるコメンターは、業務用画像機器の稼働準備電力要件の緩和を要求した。しかし、EPA は各種機能(速度、カラー能力等)を有する製品は容易にこの要件を満たすことを確認しているため、バージョン 3.2 草案で提案した 900 ワット(W)制限をそのままにした。そのコメンターは、バージョン 3.2 基準を策定するのに用いたデータセットには、2つの連続接続エンジンを用いて高速両面印刷を実現している製品のデータがいくつか含まれていることも指摘した。分析の結果、その高い性能を実現するには、極めて多量の追加エネルギーを必要とするので、提案する基準はこの種の製品には適用できないことが分かった。このことと、基準を策定するのに現状ではこれ以上のデータセットを入手できないことから、2つの印刷エンジンを接続した製品を今回のバージョン 3.2 基準の対象範囲から削除することにした。

最後のコメントは、基準を策定するために使用したモデルの中には、試験中、デジタルフロントエンド(DFE)を装備したものがあり、提案した基準はその性能(例えば、速度、解像度等)を算定するのに必要な追加エネルギーを適切に考慮していないかもしれないという心配があるというものである。これらの製品は、高性能を可能にする追加エネルギーを報告する必要も無く DFE の利便性を享受しているのだから、確かに、より高効率であるとは言えない。EPA は DFE エネルギーが現行のデータセットに与える影響を分析し、DFE エネルギーは主要製品のエネルギーを単に合計したものであり、且つこのバージョン 3.2 基準の提案基準を据え置いた場合には以前の提案基準をそのまま採用できると確信している。EPA は、DFE を装備して試験したユニットに対する DFE エネルギーをどのように組み込むかについての説明を、この基準で提示している。

この修正版に関する質問または懸案事項がある場合には、小職、[Fogle.Ryan@epa.gov](mailto:Fogle.Ryan@epa.gov)

(202-343-9153) もしくは、Cody Niblett, ICF, [Cody.Niblett@icf.com](mailto:Cody.Niblett@icf.com) (202- 862-1245)  
に連絡されたい。他の画像機器に関する質問に対しては、  
[imagingequipment@energystar.gov](mailto:imagingequipment@energystar.gov).

に連絡されたい。

今後とも ENERGY STAR プログラムに関する支援に感謝する。

Ryan Fogle

EPA マネージャー、ENERGY STAR -IT 及びデータセンター製品部門

同封

基準バージョン 3.2